

令和7年7月25日受付 肝付町議会事務局 第400号	議長	局長	次長	係
	電子	電子	電子	電子

総務・文教委員会会議録

【総務・文教委員会】

1. 日 時 令和7年7月22日（火） 午前10時00分開議 ～ 午前12時55分散会
2. 場 所 第1委員室
3. 出席委員 前原・富永・松元・宮後・柳・有留 （欠席：恒吉）
4. 事務局職員 西迫
5. 説明員 木村教育長・大窪学校給食センター長・日高参事
中俣総務課長・小西参事・吉崎参事
6. 参 考 人 なし
7. 会議に付した事件

1. 町内の学校の現状について
 - ・米飯への異物混入に係る経過と対策について
2. 防災対策について
 - (1) 津波対策について
 - ・津波避難計画について
 - ・津波避難タワーの維持管理について
 - (2) 自主防災組織と排水対策について
3. その他
 - (1) 大崎町への行政視察研修について

事件概要について

1. 町内の学校の現状について

- ・米飯への異物混入に係る経過と対策について
 - 米飯給食の異物混入事案について、経過の報告と今後の対策を協議する。
 - 特に、給食業者の選定方法や、異物混入発生時の対応、保健所の検査結果などが焦点となった。
 - 質疑応答概要:
 - 業者選定の経緯について: 委員から、前回の委員会での「指名委員会を経て選定した」という説明と、給食運営審議会での「継続契約で選定した」という説明に食い違いがあるとの指摘があった。行政側から、業者の選定は指名推選委員会を経て選定したこと及び、給食運営審議会においては、食材の納入業者について選定を行っている旨説明された。

- **異物混入の現状報告:** 給食センター長より、1学期における異物混入の発生状況が報告された。高山で16件、内之浦で2件の異物混入があり、特に、高山給食センターに米飯を納入している業者で問題が多発していることが確認された。
- **保健所の立ち入り調査:** 7月9日に保健所による再度の立ち入り調査が行われ、衛生管理状況は前回（76点）から改善し、基準となる80点をクリアしたとの報告があった。
- **異物混入発生時の対応:** これまで町として統一された対応マニュアルがなかったが、7月に新たに策定し、各学校へ周知したことが報告された。以前は、異物混入が発見されても、その部分だけを取り除いて食べるなどの対応が学校長の判断で行われていたケースがあった。
- **今後の対策**
 - **自前の炊飯施設の検討:** 根本的な解決策とする事務局の方針として、将来的に、高山及び内之浦給食センターの建て替えが必要との認識を示しつつ、緊急対策として、中古の炊飯設備を調達し、高山給食センター内に設置することも検討している旨報告があった。
 - **労働環境の改善:** 給食センターの調理室内の温度が40度近くになるなど過酷な労働環境であることが指摘され、労働環境改善のための空調設備設置も補正予算で対応したいとの考えが示された。
- **決定事項:**
 - 緊急対策として、高山給食センターへの炊飯設備および空調設備の設置を補正予算で検討し、進める。
 - 長期的課題として、給食センターの建て替えを検討していく。
 - 保健所の立ち入り調査は、今後年2回の検査を受けるよう業者に指導する。

2. 防災対策について

・津波避難計画について

● 質疑応答概要:

- 委員から、津波避難計画における避難場所の明確化と、防災マップへの反映、行政としての訓練の実施状況について質疑があった。
- 行政側は、「とにかく高台へ」という原則を周知することが重要であり、特定の避難場所を指定することは、かえって危険な場合もあるため慎重であると回答。
- 地域の自主防災組織が主体となった訓練を促しており、11月5日には、内之浦地区に合わせて波見地区で初めて津波避難訓練が実施される予定であることが報告された。
- 行政職員の災害時対応訓練については、現状では十分とは言えず、今後の課題であるとの認識が示された。

● 質疑応答概要:

- 議会モニターから提出された意見書に基づき、津波避難タワーの維持管理について質疑が行われた。
- **鍵の保管箱:** 震度5以上の地震で作動することを確認済みだが、定期的な点検の必要性が指摘された。
- **スベアパーツ管理:** 備品の一覧表示や、プライバシー保護のためのテント、AED等の整備状況について確認が行われ、改善を進めているとの回答があった。

- **周知の課題:** 委員から、津波避難タワーはあくまで「一時避難場所」であり、長期滞在を想定したものではないという認識が住民に十分に伝わっていないのではないか、という懸念が示された。行政側もこの点を認め、周知徹底の重要性を再確認した。

- **決定事項:**

- 津波避難タワーの役割（一時避難場所であること）や利用方法について、住民へのさらなる周知徹底を図る。
- 備品の定期的な点検と管理を徹底する。

3. その他

- **質疑応答概要:**

- 住民団体から提出されたオーガニック給食の導入を求める要望書について、行政の対応状況を確認する質疑があった。
- 町長および関係課で内容は確認済みであるが、現時点で文書での正式な回答はしていない。団体側が署名を集めて再度提出する動きがあることが報告された。

(1) 大崎町への行政視察研修について

- **質疑応答概要:**

- 財政健全化をテーマとした大崎町への行政視察研修の日程が8月29日に決定したことが報告された。委員に対し、視察内容に関する意見があれば提出するよう依頼があった。

(2) 次回会議日程について

- 委員長に一任された。

3. 会議全体のまとめ

本委員会では、町民の生活に直結する「食の安全」と「防災」という2つの重要なテーマについて、活発な議論が交わされた。

特に米飯給食の異物混入問題については、行政側のこれまでの対応の不備が厳しく指摘されるとともに、自前炊飯設備の導入という具体的な改善策が示された。今後は、この改善策を迅速に進めるとともに、長期的な視点での給食センター全体のあり方を検討していく必要がある。

両テーマに共通して、行政と住民、そして議会との間での情報共有と認識のすり合わせの重要性が再確認された会議であった。

総務・文教委員長 前原 和幸



令和7年9月16日受付	議長	局長	次長	係
肝付町議会事務局 第332号	電子	電子	電子	電子

総務・文教委員会会議録

【総務・文教委員会】

1. 日 時 令和7年8月29日（金） 午前13時30分開議～午前14時30分散会
2. 場 所 第1委員会室
3. 出席委員 前原・富永・松元・宮後・恒吉・有留 （欠席：柳）
4. 事務局職員 西迫
5. 説明員 なし
6. 参考人 なし
7. 会議に付した事件
 - （1）財政健全化について
 - （2）その他

事件概要について

（1）財政健全化について

大崎町への行政視察を受けて、肝付町の行財政健全化にどのように活かして行けるのか意見交換を行った。

主な意見として

- ・ふるさと納税やリサイクルなど、全国的に一定の知名度を有する自治体であり、視察対応もスマート。海外や国内各地からの視察対応に加え、町内各地域に担当職員が配置され、住民と行政の橋渡し役を担っていることにも起因して、揉まれて成長している印象を受けた。庁舎は肝付町と同時期に建設された古い建物であるが、玄関から最奥まで一望でき、整然として管理が行き届いている印象。
- ・自主財源比率が財政状況が非常に高く、基金残高も年々増加している。財政的に余裕のある状況にも関わらず、突発的な大型事業がなく、計画的でスリムな行政運営が行われている。各職員の業務に対する意識が高く、効率的で効果的な予算の執行について、管理職だけでなく全職員の共通認識とした取り組みが行われている。ふるさと納税として多額の自主財源を確保しながらも、緊縮財政が行われている。
- ・大崎町の健全な財政状況を生み出しているのはふるさと納税であり、その8割がうなぎであること。志布志や東串良など多額の納税を集める自治体も主力商品はうなぎ。また、牛肉については、全国に競合する商品がひしめいている状況で、大崎町でも苦戦を強いられている状況から、肝付町も返礼品にうなぎを確保する取り組みが必要。
- ・肝付町の類似団体である大崎町であるが、職員数が圧倒的に異なる。また、級別定員は定めていないとのことであったが、役職の数に等しい級別人員数であり、5級に多くの職員がひ

しめく肝付町とは異なることも財政状況が健全な理由と考えられる。また、公用車についても、ほぼ全台が集中管理として利用されており少ない台数を効率的に運用している。以上のような意見が出された。
また、行政視察に係る総括については委員長に一任された。

(2) その他

今年2月に実施した学校巡回において把握した問題点に関する追跡調査を行うよう計画してほしい旨要望が出され、次回実施することが約束された。

総務・文教委員長 前原 和幸



令和7年9月18日受付 肝付町議会事務局 第336号	議長	局長	次長	係
	電子	電子	電子	電子

総務・文教委員会会議録

【総務・文教委員会】

1. 日 時 令和7年9月17日（水） 午前10時00分開議～午前11時55分散会
2. 場 所 第1委員室
3. 出席委員 前原・富永・松元・宮後・恒吉・柳・有留
4. 事務局職員 西迫
5. 説明員 木村教育長・大窪教育総務課長・木佐貫補佐・日高参事
6. 参考人 なし
7. 会議に付した事件
 - (1) 継続調査について
 - ・町内学校の現状
 - (2) 所管事務調査報告について
 - ・大崎町行政視察報告
 - (3) 閉会中の継続調査事項について
 - (4) その他

事件概要について

(1) 継続調査について

2月に実施した現地調査により把握された懸案事項への対応状況のうち、現時点で未対応案件について次のとおり確認した。

- ・宮富小・国見小へのフェンス設置は、現在も検討中。
- ・空調使用は、各校判断にまかせているとのことであるが、指針の改正が必要との意見あり。
- ・高山中グラウンドの整備の時期は未定。
見積額約1,000万円程度の工事では、本的対策にはならず不十分との指摘あり。
- ・内之浦小職員用トイレ修繕は、今年度実施する大規模改修に含まれておらず、別途対応予定。
- ・高山小玄関壁の剥離は令和8年度以降に対応予定。

また、学校の統廃合・再編問題については、教育委員会から、今後も地域との意見交換を重視しながら地域の総意として要望を待つ方針が示されたが、受け身体制でよいのか、町が主体的に判断すべきか意見が分かれた。

さらに、公共施設の空調利用に関して、学校も役場も同じ指針の必要性、修繕費・光熱費の予算不足、課題解決に関する優先順位基準の欠如が課題として指摘され対応を求めた。

(2) 所管事務調査報告について

大崎町への行政視察研修報告書について、ラスパイレス指数や昇格基準及び級別定数の資料に役職名称の追加要望が出されたが、大崎町の昇格基準については、制度でなく運用との説明であり文書化は困難であると判断した。

また、調査結果の概要については、「本町職員も参考にしてほしい」旨を追記することで了承された。

(3) 閉会中の継続調査事項について

町内の学校の現状・防災対策・財政の健全化の３点について閉会中の継続事項とすることを決定。

3. 会議全体のまとめ

本委員会では、学校施設の修繕・空調利用・安全対策など現場の課題が多数指摘された。教育委員会は国や県の指針を踏まえつつ、現場や地域との意見交換を行いながら、各地域からの声を尊重する姿勢が示されたが、委員からは主体的対応を求める意見が出された。

また、大崎町への行政視察の成果を議会広報への掲載等により町職員にも共有すべきとの意見が確認された。

さらに、閉会中も学校の現状、防災対策、財政の健全化に関する調査を継続することで一致し、閉会した。

総務・文教委員長 前原 和幸

